

# 個人紹介



## ベアテさんと江南

田中園子

1997年ベアテさんとの衝撃的な出会いがありました。

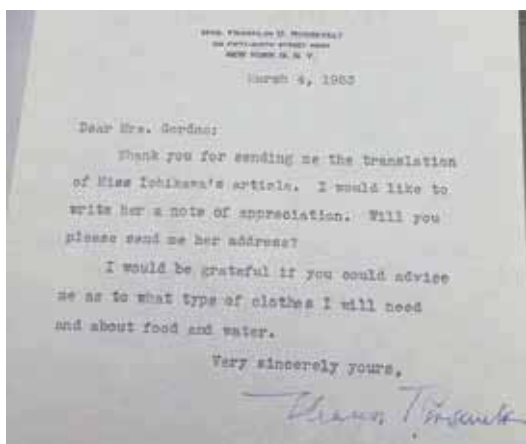
オーストリア（音楽の都）に生まれたベアテさんは5歳の頃、ドイツ・ナチスの迫害から逃れるため、作曲家山田耕筰氏の導きで日本に両親とともに亡命。東京乃木坂に住む事となり、約10年を過ごされました。お手伝いさんとして働いた東北出身の美代さんの話、男尊女卑、幼女の身売り等、人権を無視された日本女性の日常生活の悲惨な姿に胸を痛め脳裏に焼き付いたのでした。戦火の日本から15歳でアメリカに一人で旅立ちミルズカレッジに入学。戦後1945年GHQの通訳として再来日。日本の新しい憲法が作成されるに当たり、22歳の若さで女性の権利、人権条項を任される事になり、日本女性を救う憲法第24条の草案を書くことになりました。ベアテさんが涙で訴え勝ち取ってくださった憲法「男女平等」なのです。参政権、選挙権もなかった女性に光が当たりました。困みにアメリカにはまだ男女同権条項は憲法に明記されてはいないのです。

戦後、GHQの極秘情報がオープンになり、ベアテさんは事実を語り始めたのです。この恩に報いるため、全国から有志を募り「ベアテさんを語る会」Beate Societyを立ち上げ



24条が書かれた6か国語（米・日・独・伊・露・仏）付のスカーフの作成、講演行脚アテンド、ドラマ、映画作成への協力など、事務局長の高田朝子さんの奮闘は目を見張る程でした。約20年お世話を、公私ともに深い絆で結ばれました。日本及び日本女性に福音をもたらしていただいたベアテさんの御功労を称え、その記録も永久保存し、アメリカからも資料を取り寄せ、アーカイブスとして国立教育女性会館に展示されることになりました。これも高田さんの奔走のおかげです。どうぞ永久保存してください。

Love and peace    Life is but a dream    But life is beautiful



ルーズベルト大統領の手紙

March.4.1953

市川房枝先生が大統領に面会した時にベアテさんが通訳としてお手伝いをされその時のお礼の手紙

憲法第24条 スカーフ



ニューヨークのご自宅にて

## 110位から121位へ

森ケイ子

この程、2019年のジェンダーギャップ指数が発表されました。経済・教育・健康・政治の分野で、日本は世界153カ国中121位となり、前年の110位からさらに後退し、最低を更新しました。その中で特に遅れているのが「経済分野」における男女賃金格差と管理職の女性比率が低いこと、「政治分野」における順位は、144位とダントツに低いことが挙げられています。

世界各国で女性の比率が高まっているもとの、日本が旧態依然の状態にあり、その差はさらに広がっていくのではないのでしょうか。

江南市議会も22人中2名であり、1割を切ってしまいました。女性差別撤廃条約から40年。男女雇用機会均等法の制定をはじめ、少しずつ法整備は進んできていますが、依然として政治や、政策決定の場に女性が少ない状態が続いています。家庭や職場、学校、地域社会などあらゆる分野でジェンダー平等の視点に立って生活を見直し、積極的に発言し、地域から声をあげていきましょう。

総合順位	国名	経済	教育	健康	政治
1位	アイスランド	2位	36位	123位	1位
2位	ノルウェー	11位	31位	96位	2位
3位	フィンランド	18位	1位	56位	5位
4位	スウェーデン	16位	59位	117位	9位
5位	ニカラグア	81位	1位	1位	3位
6位	ニュージーランド	27位	1位	109位	13位
7位	アイルランド	43位	47位	113位	11位
8位	スペイン	72位	43位	93位	8位
9位	ルワンダ	79位	114位	90位	4位
10位	ドイツ	48位	103位	86位	12位
121位	日本	115位	91位	40位	144位

## 30周年に寄せて

江口仁美

30年という年齢を重ね、更に先へ進んでゆくこの会の一員として多くのことを学ばせて頂き、感謝の気持ちで一杯です。ベアテさんの存在を知り日本の女性の権利と義務の歴史を知りました。

そして私達の住む環境の問題にも、多くの気付きと知恵を教えてくださいました。

社会全体が様々な問題をかかえ、多種多様な変革を求められている現在、私も女性連絡協議会の一員として新しい力を得て、活動を続けていきたいと思っております。



## 季節を感じて

大前 温子

私が俳句を始めた頃は麦の刈り取り風景が見られる五月。気持ちの良い初夏の風も吹いてきます。俳句では「麦秋」「薫風」などといった季語を使用して17文字のショートポエムを作ります。句を作る時は、今でもその時の風景が鮮やかに蘇ります。

現在、13年目の千鳥会（50年以上の歴史）7年目の宴俳句会の二つの句会を主催しています。

千鳥会での5年目に人生の終盤の淋しさや嘆きを詠む俳句の多さに苦しさを覚え、同年代で句会を開けないかと思い始めました。喫茶・ギャラリーの宴の協力で句会を開くことになりました。初心者ばかりで大騒動、わいわいがやがやでも、素朴な喜びや感動に満ちたの句会です。この会には友人の写真家、酒井工氏が毎月季節の写真を提供して頂いています。この写真を季題として、1枚は写真を見て詠み、5句は自由に詠んでくださいというルールです。会場が喫茶・ギャラリー宴ですので、1年に1度作品展を開いています。

私は句会を開く人、俳句が上手いわけではありません。ただ俳句の会のお世話係をするのは大好きです。女性連絡協議会のフェスタでは、自作の句を展示しました。季節と対峙し、季節に溶け込み、季節を味わい、句友と心を通わせ、あれこれ俳句談義するのが、楽しくてたまりませんね。

ドナルド・キーン氏の言葉『詩を作る人は、学生時代はともかく海外では少ない。けれど日本では多くの人がショートポエム（俳句・短歌）を作っている。日本人は素晴らしい』自分が褒められたような気がして、ずっと誇らしく嬉しいです。難しい事は考えず、句を詠むことは素晴らしい。凡人でも才能なしでも季節を感じて生きてゆくことは素敵な事です。

千鳥会 宴俳句会 主催





## パワフル江南 30 年に係わって

山 田 順 子

私の手元に「江南ふれ愛・特別号」の5年、10年、20年の3冊があります。

今回、もう一度読んでみました。江南市に引っ越して40年余り、初めのことから関わって、随分沢山の人々や、いろんな場所に行くことが出来ました。

今も仕事を続けながら、「江南市男女共同参画市民フェスタ」と「江南ふれ愛映画会」には参加しています。自分のライフワークとしてきました。

これからも人生の残照に適した出会いを求めて頑張ります。



shutterstock.com + 150373661

## 人生という列車に乗って再スタート

原 藤 宏 子

30年の節目を迎え、江南女性連絡協議会に、心から敬意を表します。

縁あって本会に入って10年余りが経ちました。30年前の私は、仕事で家と職場を往復するだけの毎日を過ごしておりました。その頃（1985年）男女雇用機会均等法が制定、施行されました。言葉としては理解致しましたが、働く女性にとってどのようなものであるのか、あまり実感できませんでした。仕事は大変でしたが、そういう点では、恵まれていたのかも知れません。その後定年で退職した私の生活スタイルは一変し、はじめてのことを体験し、様々な講座やイベント等に参加する機会がふえました。そういう中で、本会に出会えたことはとても幸せなことでした。一挙に視野が広がり、たくさんのことを学びました。そして、いろいろな事に感動し、わくわくしました。まだ、学べる事、感動できることに心から感謝しております。個人会員としてできることはささやかではありますが、この気持や体験を皆様と分かち合い、少しでも社会に役立てられるよう精進していく所存でございます。本会のますますの発展と継続を願ってやみません。

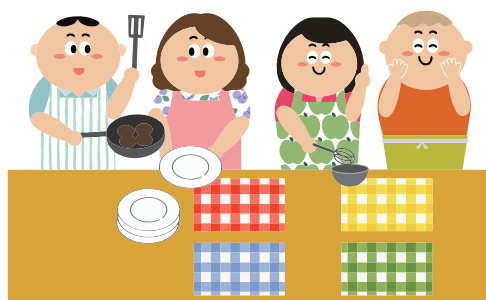


## 江南市女性連絡協議会30周年に思う事

沢田 市子

江南市女性連絡協議会に参加させていただき感じたことは、多くの団体の方々が、それぞれの地域で男女共同参画の活躍をしてみえるのにびっくりしました。

私は国際交流協会で、外国人への日本語教室を毎週と、クッキング教室では色々な国の料理を年に2、3回お手伝いさせていただいています。又、旅行が楽しみなので日本女性会議に出席して、他府県の方々とつながって色々学んでいます。これからも頑張っておいに負けないようにしていこうと思います。



## 女性連絡協議会に入会して

栗木 幸枝

横浜市から江南市に住居を構えて、30年が過ぎました。当初は、未知の土地と知人もいないところで、不安な気持ちで一杯でしたが、色々なボランティア活動に進んで参加して、自分なりに地域に溶け込んでいくことができました。その中で、この会を知り、個人会員として入会させていただき、約6年が過ぎました。

初めて理事会に参加させていただいた時は、驚きを感じました。皆様方が積極的に意見交換をされ、お互いに尊重し合い、会の向上に努められている姿を目の当たりにした事でした。皆様方の仲間に入れていただいたのを機に、自己研鑽に努め、今後の活動に役に立てる人間に成長したいと思いました。

最近、いじめや、虐待等の暗いニュースが多すぎ胸が痛みます。この会を通じて、いつの時代でも大切な人と人とのつながりや“恕”じょ（許し合う心）の精神を広げていきたいと思っています。



## 30周年を思う

丸井望倫子

江南市女性連絡協議会が30周年を迎え心よりのお祝いと共に、喜ばしい思いでいっぱいです。

私は、この会にお誘いを受け入会させて頂き乍ら、これといった大したお手伝いもしていないまま、30周年を迎えた今、もっと何か出来なかったかと、少々反省を致して居ります。仕事を持ち乍らの入会でしたので、私なりに出席、参加の出来る範囲での20数年でした。会の内容も行事もその時代に合ったもの。又新しい分野への挑戦だったり、自慢のパワフル江南と思っています。

発足当初の会の代表者である田中園子さんや現在代表の高田朝子さん、その近くで会を支え続けて来て下さっている多くの方々の力強い協力があったからこそ30周年でした。そう考えると感激と感動でいっぱいです。

2030年は65才以上が人口の3分の1という時代。40周年号はどのような内容になるのか、恐怖でもあり楽しみでも有りますが、先ずは30周年を迎えられたことへの感謝でいっぱいです。



## 設立30周年に寄せて

堀尾 汎子

計らずも、女性連絡協議会30周年の節目に立ち会うこととなり、色々勉強させて頂くばかりの身ですが、5年ほど前に大病を得て、つくづく健康のありがたさが身に沁みました。

一身上のことではありますが、まず、一日一回腹の底から大声で笑い、美味しく食事を頂き、万歩計を着けて手を振って歩き、どなたとも笑顔で話せるように、平平凡凡、何事も無い、毎日こそが私の幸せだと思っています。

このところの、自然の脅威を見て「何て気の毒な！！」と思い、でも、明日は我が身かも、天災は忘れる前に次々にやって来る。本当に何処に起きてても不思議ではありません。被災された方々が異口同音「以前の生活に戻りたい」と話しています。被災以前の、平凡な日常の中に戻りたいのでしょう。1日でも早い復興を祈って、私も身の周りの防災に取り組みもうと思います。明日の命を信じて。

## ママたちが笑顔になれる活動を！

中山 聡子



江南市でママ向けのヨガ教室 tokotoko\*yoga を主宰しています。他にも地域の健康サロンや、デイサービス施設でも、シニアヨガのレッスンを行っており、0歳から90歳以上の高齢者まで、幅広くヨガで健康な身体作りをサポートしています。

教室を立上げたきっかけが、自分が出産した時に身体を動かしたくても、赤ちゃんを連れて行ける教室もなく、小さな子がいても気軽に遊びにいける場所が全然なかったからです。そうすると、母親は家に引きこもりがちになってしまい、精神的に辛くなるばかり。そんな時に家で息子とヨガをすると、息子が凄く喜んでくれて、そして自分自身の身体も心も凄く楽になったんです。

こんな素晴らしいものを、多くのママ達に伝えたい！そして、ママ達が気軽に来れる場所、悩みや子育て情報を共有できる場を作りたい！そんな思いで立ち上げました。

現代は、ネットで情報が溢れ過ぎているので、余計不安になってしまったり、核家族で、すぐ近くに頼れる人がいなかったり、ママ達の心も不安定になりやすいです。そんなママ達が、笑顔になれる活動をさらに広めていくべく、「こうなん子育て応援隊」としてもママ向けのセミナーや講座にも力を入れています。



## ～いのちの授業を通して～

山西 知子

2019年、子育て応援隊のセミナーとして、江南市の助産師による『いのちの授業』を開催させていただきました。今回は小学1年生から3年生までの親子を対象に、いのちの大切さをお伝えしました。

参加してくれた子どもたちと、楽しい時間を過ごすことが出来ました。中でも、熱心にメモをとる3年生の女の子はこの日のためにメモ帳とペンを購入して参加されたそうです。



ピカピカのメモ帳に、たくさんの思いをつめて、『楽しかったです』との感想を聞かせてくれました。

2年生の男の子のお母さんから『子どもの成長に合わせて、いのちの授業を開催してほしい』との要望もいただきました。

情報が溢れる中で、育児不安に悩む親子の手助けができるよう、助産師として、これからも『いのちの授業』を開催していけたらと思います。



## カラダもココロも笑顔に!!

朝川 亜矢子

全ての女性のための整体院「マタニティ整体江南店～えがおパーク～」を運営し、江南市子育て応援隊の活動にも参加しています。

妊婦さん、産後のママ、赤ちゃんが欲しい方の骨盤ケアはもちろん、更年期や閉経後特有の心身の不調にも寄り添い、それぞれの痛みや症状、目的に合わせてサポートしています。

子育て中のママのために、保育士による無料託児サービスを行っており、江南市の子育て中のお母様方に喜んでいただいております。

また「黄土よもぎ蒸し」を導入しており、身体を温めることによる免疫力の向上やデトックス作用による美肌効果が好評です。

身体の疲れはもちろんのこと、育児や日常のストレスや悩みを発散し江南市のママたちが、カラダだけでなくココロも笑顔になれる活動を目指しています。



## 江南市女性連絡協議会に参加して

松井 浩恵

私は、平成31年4月に入会いたしました。驚いたのは数々の団体の皆様が色々な催事を企画され、住みよい江南市発展の為、パワフルに活動されている事です。その姿を拝見し圧倒されました。

さらに、5月より愛知県男女共同参画人材育成セミナーに参加することになりました。私は、ここでは各市町村より23名が約10か月間、移り行く時代背景から、地域の現状

と課題を見つめ、私たちに何ができるのか「ワークライフバランス」を考え、「地域活性化に力を入れていくにはどうしたらよいか」など、各グループでプログラミングをしています。

江南市女性連絡協議会は、新たな出会いと、新たな気づきが生まれ、様々な活動を通じて、沢山の刺激と元気をいただいております。感謝！

また、愛知県の取組みとして「あいち女性輝きカンパニー」の中から、女性の活躍促進の取組に協力できる企業として「あいち女性の活躍プロモーションリーダー」を委嘱されました。女性の活躍に向けた取組が少しでもお役に立てるよう頑張りたいと思います



⇐ 令和元年7月2日 愛知県庁にて大村知事と



第二十四条  
 婚姻は、両性の合意のみに基いて成立し、夫婦が同等の権利を有することを基本として、相互の協力により、維持されなければならない。  
 配偶者の選択、財産権、相続、住居の選定、離婚並びに婚姻及び家族に関するその他の事項に関しては、法律は、個人の尊厳と両性の本質的平等に立脚して、制定されなければならない。



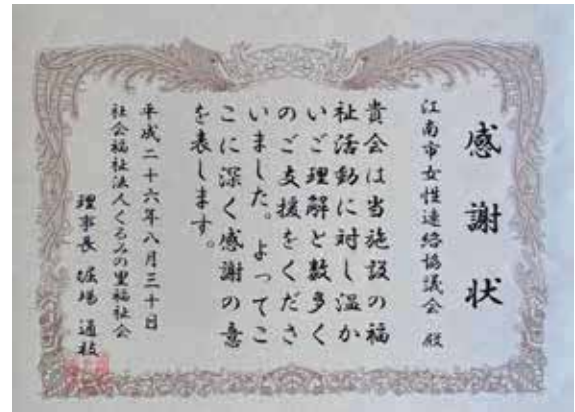
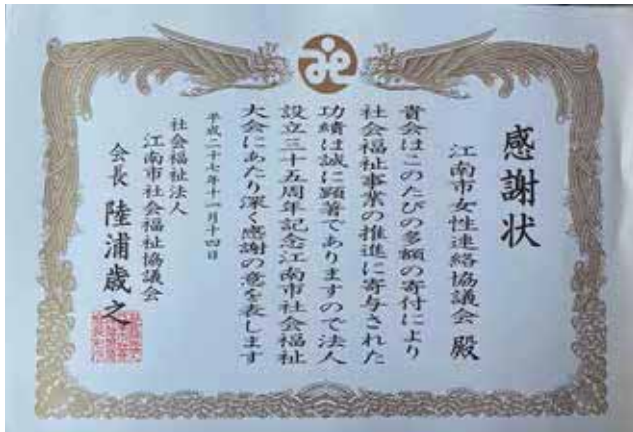
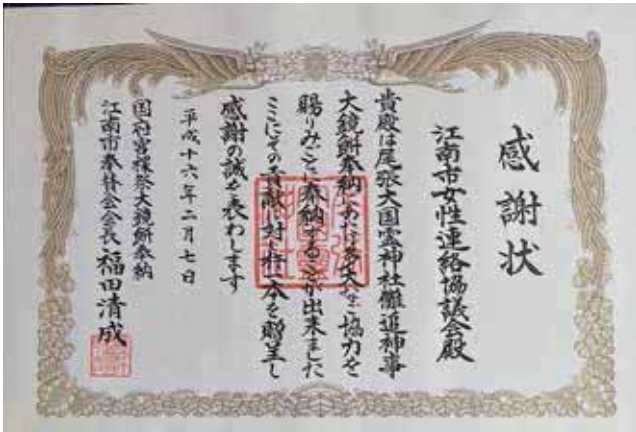




トラスリボン運動は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を目的として、医療従事者や感染者に寄り添うための運動です。大宮市市民会館でも、この運動が盛んに行われています。











\*\*\* 編集後記 \*\*\*

2020年2月イギリスのクルーズ船ダイヤモンド・プリンセス号が横浜に寄港してから日本国内では緊急事態宣言とともに私たちの活動も制限をまいりました。そんな大変な年を迎えながらも本誌の完成を迎えることが出来大変うれしく思います。

皆様とともに男女共同参画社会の実現を目指し30年にわたる活動の記録を記し、次世代に繋いでいきたいと願っています。

最後にご寄稿いただきました皆様、又、編集にご指導ご協力いただいた各位に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

2021年5月15日 編集委員一同

\*\*\* 編集委員 \*\*\*

高田朝子	小森洋子	
田中園子	鷺見孝子	丹羽佳世子
河井仙子	栗木幸枝	栗本明美
武田美代子	中村きわ	長谷川百合子
原藤宏子	堀尾汎子	松井浩恵
森ケイ子	森崎芳子	



江南ふれ愛 30 周年記念誌

2021年4月 印刷

2021年5月 発行

編集 30周年記念誌作成委員会

発行 江南市女性連絡協議会

